

# TOTO

## 小型電気温水器



# 湯ぽっと REKシリーズ

### REK12型、REK25型、REK35型

## 7 安全上の注意

### 安全のために必ずお守りください

取付工事の前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。この施工説明書では、製品を正しく取り付けていただき、使用者への危害や財産への損害および工事者への危険を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示は、つぎのようになっています。

表示	意味
 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。






下記に示す内容は、施工説明書や製品に表示して、工事業者の方に安全に正しく製品を取り付けていただくものです。内容をよく理解して正しく取り付けてください。

絵表示	意味	絵表示	意味	絵表示	意味
	一般的な禁止		必ず実行		アースを接続せよ




取付工事完了後、施工説明書に記載の「試運転」にしたがって各部の点検を行い、器具のガタつきや漏電・水漏れなど安全上の不具合がないことを確かめてください。

製品に同梱されている「取扱説明書（保証書付）」は、使用者に製品を正しく安全に使用していただくための重要な書類です。紛失したり汚れたりしないように大切に保管し、工事完了後、使用者または建築工事責任者にお渡しください。なお、保証書には必要事項を必ずご記入ください。

### 警告


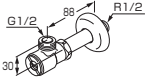
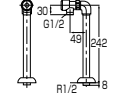
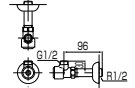




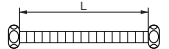

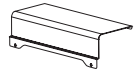


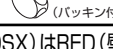
 分解禁止	修理技術者以外の人は、この説明書に記載された項目以外は絶対に分解・修理・改造は行わない (感電や故障の原因になります。)
 一般的な禁止	指定する電源以外では使用しない(ヒーターの断線・火災などの原因になります。)
	電源コードの加工(切断・継ぎ足し)を行わない(感電・火災の原因になります。)
 風呂シャワーなど水場での使用禁止	屋内用のため、屋外には設置しない(感電や故障の原因になります。)
	コードを乱暴に扱ったり、ガタついているコンセントに差し込まない(火災の原因になります。)
 必ずアース線を接続せよ	電気工事は、関連する法令、法規にしたがって必ず「有資格者(電気工事士)」が行い、アース(D種接地工事100Ω以下)工事を行う また、漏電遮断器を取り付ける (誤った工事を行うと故障や漏電の時に感電するおそれがあります。)
 必ず実行	熱湯用出湯口には必ず専用水栓を接続する (一般水栓を接続すると水栓が破損しやけどや水漏れのおそれがあります。)

### 注意

 一般的な禁止	タンクが空のときは、絶対に電源スイッチを入れない (空焚きとなり故障・事故の原因になります。)
	水道水以外は、通水しない (井戸水などを通水すると腐食などにより水漏れするおそれがあります。)
 必ず実行	製品に強い力や衝撃を与えない(故障や水漏れの原因になります。)
	排水管は耐熱性のものを使用する (熱による変形、割れなどで水漏れするおそれがあります。)
	給水口に接続する前に必ず、配管内のゴミなどを取り除くため止水栓を開けバケツ2杯(約20L)程度の水を捨てる (フィルターを通ったゴミが機器内に入り、故障や水漏れの原因になります。)
	凍結のおそれがある場合は、電源プラグを抜いてタンク内の湯を抜く 「16. 機器内の水抜き」を参照ください (凍結破損し水漏れするおそれがあります。)
	必ず連結配管内の水抜きがスムーズにできる勾配で取り付ける (凍結した場合、破損し水漏れするおそれがあります。)
	水抜きを行うときは、必ず電源スイッチを「切」にする (空焚きとなり、故障・やけどの原因になります。)
 必ず実行	施工後、長期間使用されない場合は、電源プラグを抜いて、水抜きをする (水質が変化した場合、下痢・腹痛など体をこわすおそれがあります。)
	フィルター付き止水栓の掃除をする際は、いきなりフィルターふたを緩めず、止水栓を閉めてから行う (水が噴き出して、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。)



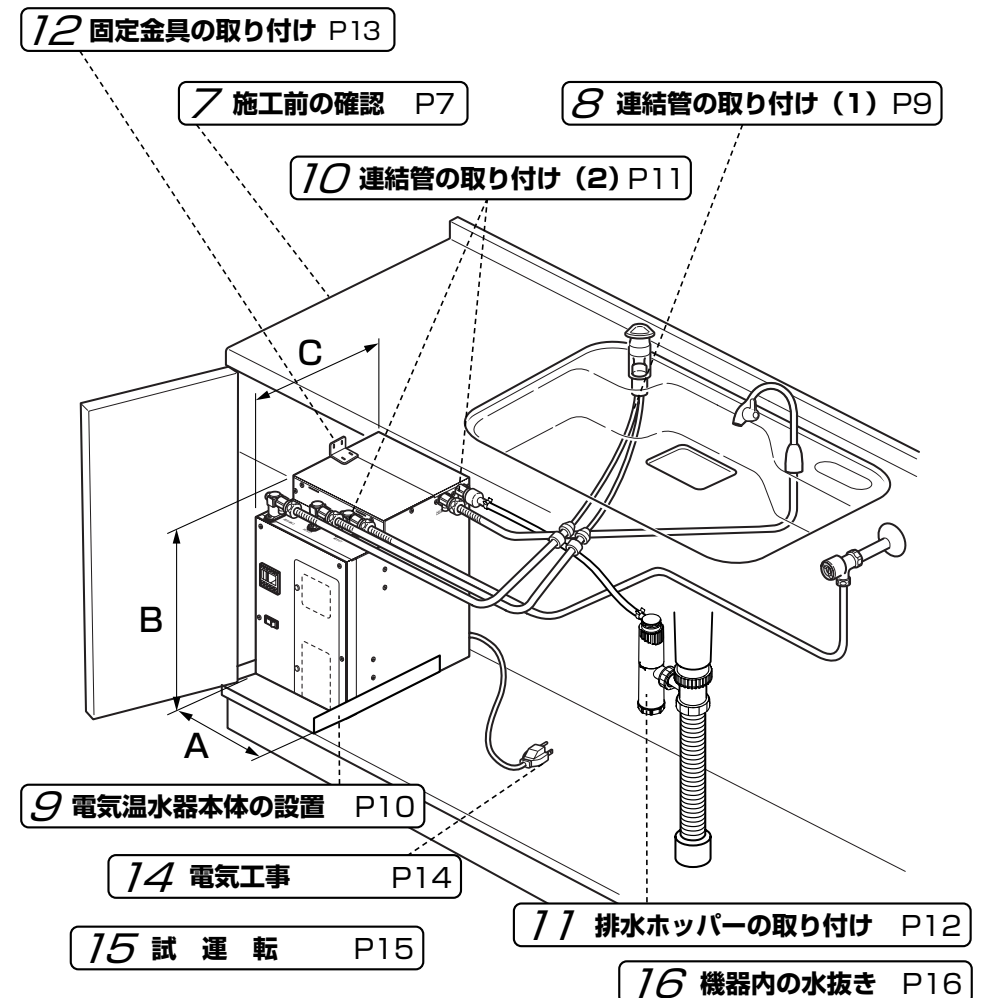
# 5 別売品一覧

品名	品番	形状	備考
★開放式排水ホッパー	RHE22H-50		膨張水処理用 (排水ホース長さ: 800mm)
★アングル形止水栓	TL347C		給水用フィルター付き
	TL347C1		給水用フィルター付き
	TL347CVU (寒冷地、注文生産品)		給水用フィルター付き
熱湯用単水栓	T30FDU13		専用単水栓
	T70GD		専用単水栓
	T36FDH13		専用単水栓
	T71GD		専用単水栓
連結管	RHE436-20		L=200mm
	RHE436-30		L=300mm
	RHE436-40		L=400mm
	RHE436-50		L=500mm
	RHE436-60		L=600mm
	TN65LX75		L=750mm
	RHE140		L=850mm
固定金具	RHE483		キッチンキャビネットとの固定用
配管カバー	RHE651		REK12型用 化粧ネジ (×2)
	RHE652		REK25型用 化粧ネジ (×2)
	RHE653		REK35型用 化粧ネジ (×2)
接続口キャップ	TH651		使用しない接続口を塞ぐことができます。

※熱湯用シングルレバー混合栓(T235UDRX、T230UDSX)はRED(壁掛け型)専用のため、取り付けることができません。  
 ※★は必要別売品です。

# 6 施工図

この施工図は、施工例です。取り付けは、シンクキャビネットおよびRタイプ、Lタイプにより異なります。



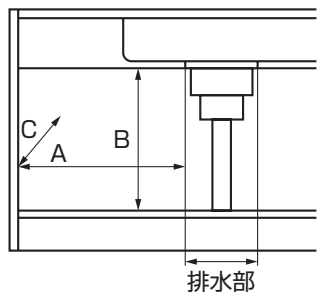
製品寸法			
	REK12型	REK25型	REK35型
A	250mm	360mm	378mm
B	402mm	401mm	479mm
C	336mm	436mm	436mm

# 7 施工前の確認

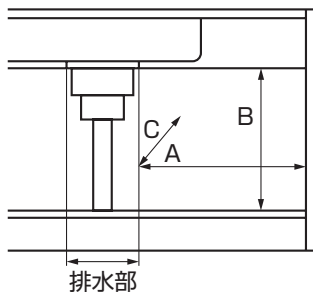
## (1) 設置スペースの確認

設置には、下記のスペースが必要です。

①排水部の左側に設置する場合



②排水部の右側に設置する場合



	REK12型	REK25型	REK35型
A	約350mm	約460mm	約480mm
B	約410mm	約410mm	約490mm
C(奥行)	約360mm	約460mm	約460mm

※A寸法は、湯ぽつと(幅)+連結管取付けスペースです。

※A、B、C寸法は、シンク排水本体形状、キャビネット扉の丁番形状、包丁差し形状により、多少異なります。

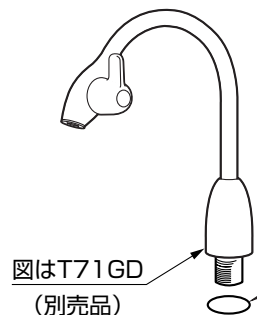
## (2) キャビネット底板強度の確認

キャビネット底板に設置するため、満水時の製品質量に耐える強度が必要です。キャビネット底板の強度が不足している場合は、底板を補強してください。

	REK12A1D	REK12A1C	REK25C2D	REK25C2C	REK35D2D	REK35D2C
製品質量(満水時)	約24kg	約23kg	約40kg	約39kg	約54kg	約54kg

## (3) 水栓取付穴の確認

台付の熱湯用単水栓を取り付ける場合は、キッチンカウンターにサブ水栓用の取付穴が必要です。取付穴がない場合は、穴の加工を行ってください。

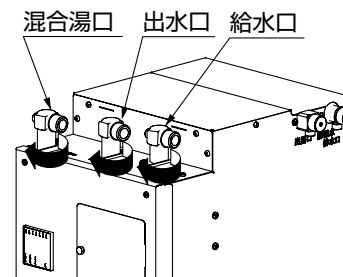


熱湯用単水栓(T36FDH13、T71GD)の取付穴径は、φ25mmです。その他の水栓を取り付ける場合は、取付穴径を確認のうえ、加工してください。

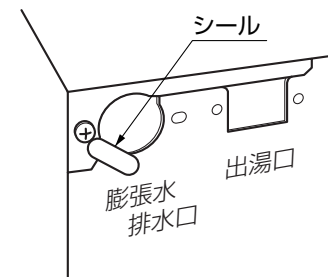
図はT71GD  
(別売品)

## (4) 排水部の右側に設置する場合(左側に配管接続する場合)

### 〔前部接続口〕



前部の接続口3箇所(給水口・出水口・混合湯口)は、左右に回転可能。

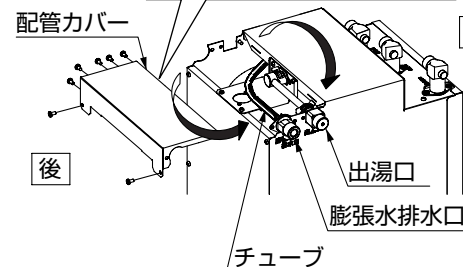


出荷時、接続口の無い側面の膨張水排水口にはネジ穴をふさぐシールが張り付けてあります。このシールを外してください。(反対側の同じ箇所にもシールを張り付けてください)

### 〔後部接続口〕

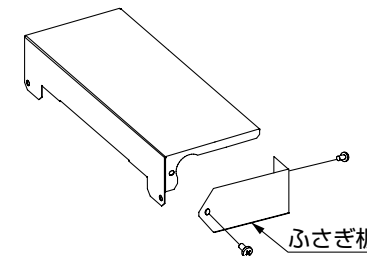
#### 〔自動給排水なしの場合〕

配管カバーおよび接続口の取り外しは下記のネジ(本数)  
●配管カバー(2本)  
●膨張水排水口(3本)  
●出湯口(2本)  
の計7本を外してください。



接続口と配管カバー固定ねじを外し、後部配管カバーを取り外して接続口を矢印の向きに回転させて方向を変えます。(チューブは折れ曲がらないように注意)  
※膨張水排水口の固定ビスは3本です。取り付け忘れのないように注意してください。

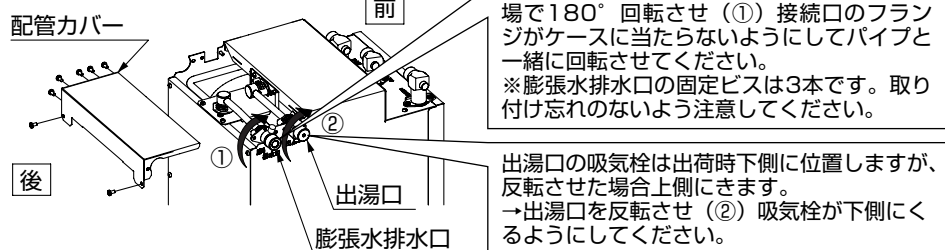
### 〔配管カバー〕



ふさぎ板を反対へ固定し、配管カバーを本体に取り付けます。

## 7 施工前の確認 つづき

(自動給排水タイプの場合)



## 8 連結管の取り付け (1)

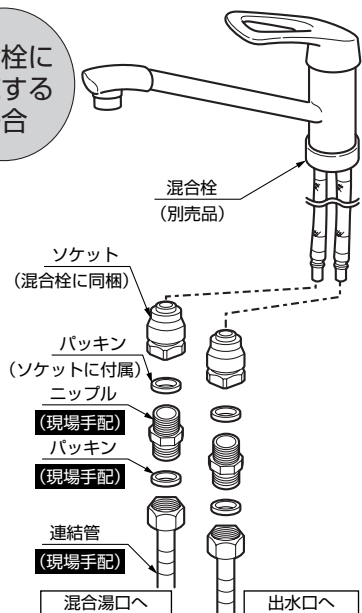
下図の要領で水栓・止水栓に連結管を取り付けてください。キッチンカウンターへの水栓の取り付けは、水栓に同梱の『施工説明書』にしたがって取り付けてください。



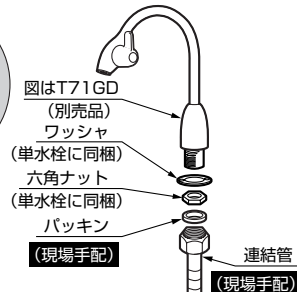
電気温水器と止水栓の接続はフレキ管を使用する(鋼管などで接続するとシール剤などが内部に入り動作不良を起こす場合があります。)

連結管、パッキンは耐熱のものをご使用ください。

混合栓に  
接続する  
場合



熱湯用  
単水栓に  
接続する  
場合



止水栓に  
接続する  
場合

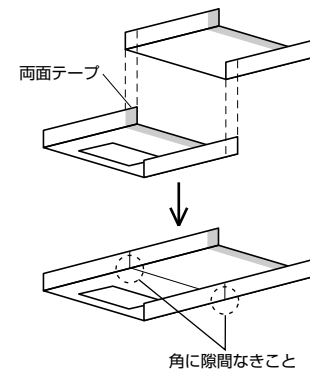
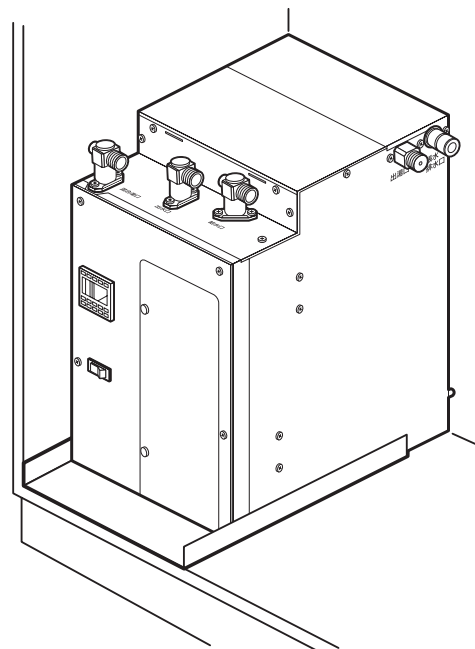


必ずフィルター付止水栓にしてください。(異物などが混入し、機器の故障の原因になります。)

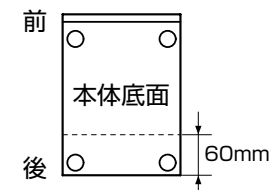
## 9 電気温水器本体の設置

電気温水器本体に漏水誘導シートを張り付け、本体をシンクキャビネットに設置してください。

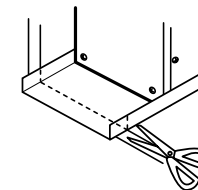
- シートの両面テープの台紙をはがし、もう片方のシートを上にして張り付けてください。



- 本体底面後ろから60mmを目安として漏水誘導シートを張り付けてください。



- 電気温水器本体をキッチンキャビネットに設置し、キャビネットより飛び出している部分をハサミなどで切り除いてください。



# 10 連結管の取り付け (2)

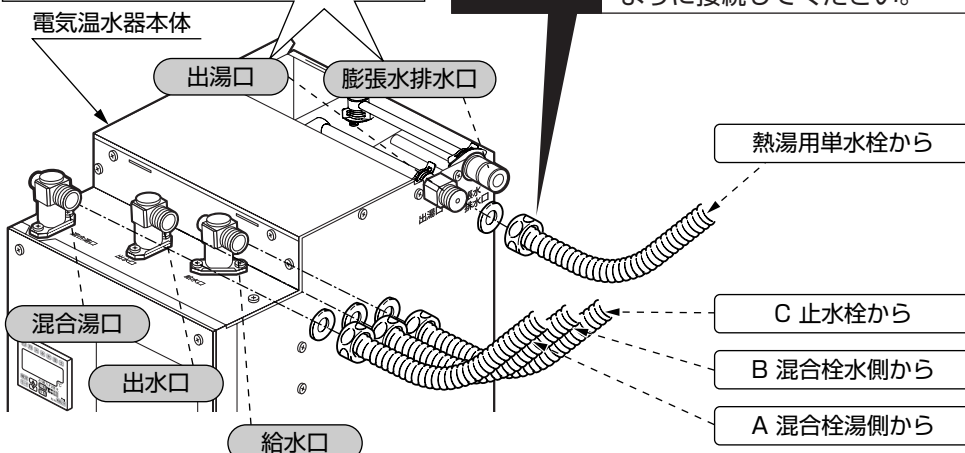


止水栓と電気温水器を連結管で接続する前に必ず止水栓を開けバケツ2杯 (約20L) 程度の水を捨てる (フィルターを通ったごみが機器内に入り、故障や水漏れの原因になります。)

電気温水器本体をキャビネットに設置し、下図の要領で連結管を電気温水器本体に接続してください。

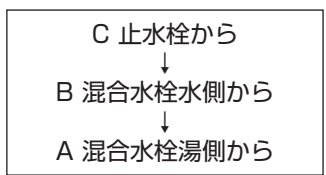
配管の取り付け時、干渉する可能性があります。奥側の膨張水排水口より取り付けると作業が楽です。

**注意** 連結管が高温になるため、シンク保温材などに接触しないように接続してください。

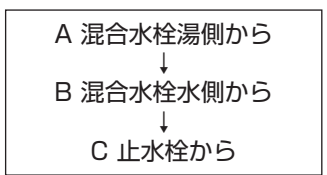


前面側3本の連結管は以下の順に接続すると、作業が楽です。

(1) 排水部の左側に設置する場合 (上図の例)



(2) 排水部の右側に設置する場合 (上図と反対の場合)

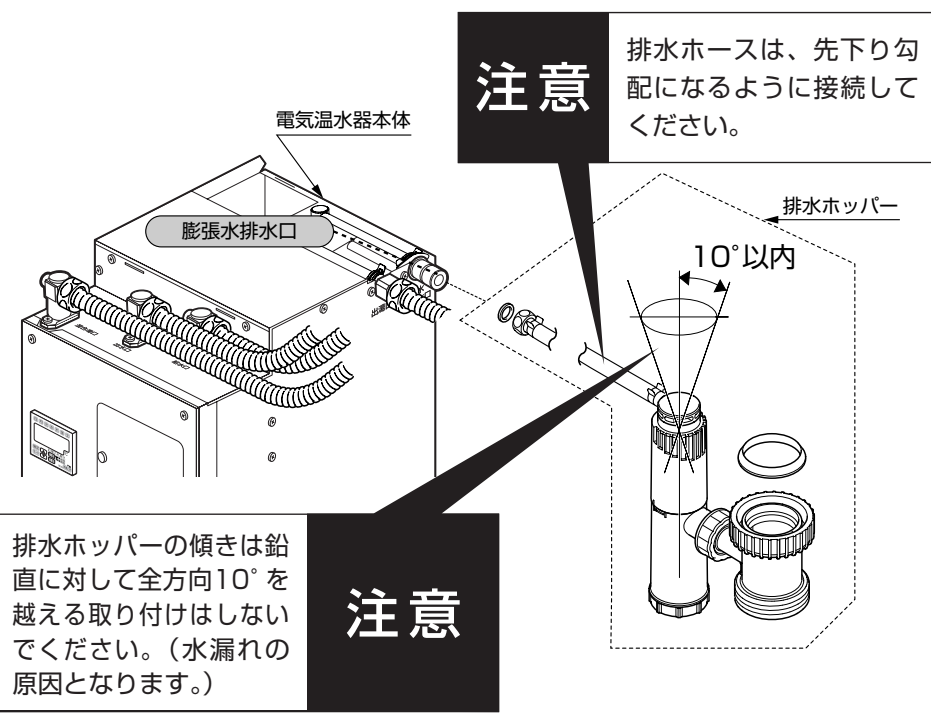


**注意** 連結管は機器本体側が低くなるように取り付けてください。

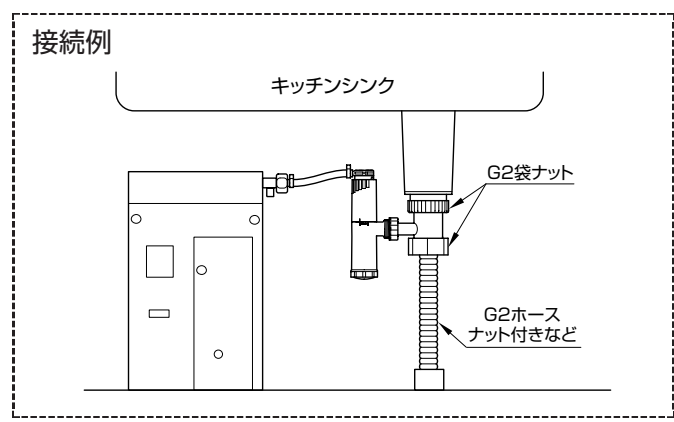
**注意** 連結管は、極端に折らないでください。  
R40以上

# 11 排水ホッパー (別売品) の取り付け

下図の要領で排水ホッパー (別売品) を電気温水器本体の膨張水排水口に接続してください。

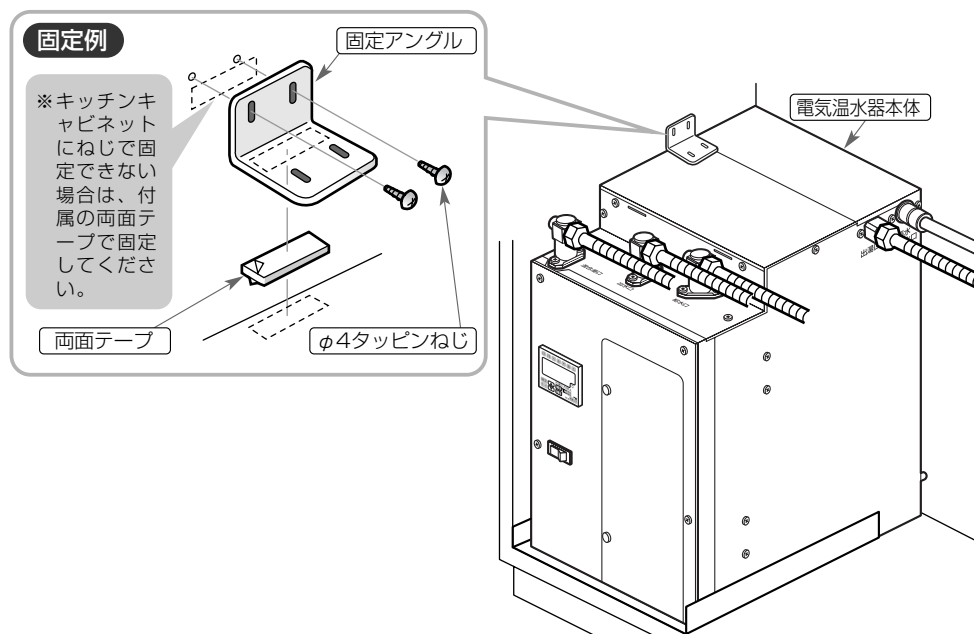


※排水ホッパーの取り付けは、排水ホッパーに同梱の『施工説明書』にしたがって取り付けてください。

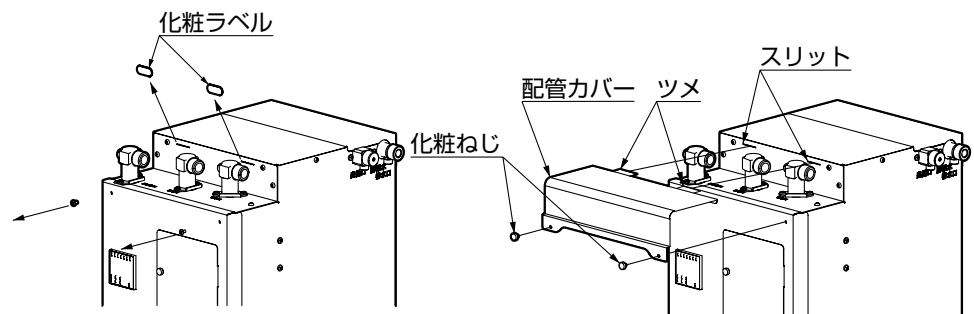


# 12 固定金具（別売品）の取り付け

下図の要領で固定金具（別売品）を取り付けてください。



# 13 配管カバー（別売品）の取り付け



前面パネル上部のねじを外し、化粧ラベルをはがします。

配管接続後、配管カバーのツメを本体正面のスリットに差し込んで配管カバーを同梱の化粧ねじで前面パネルと固定します。

# 14 電気工事



電気工事は、関連する法令、法規にしたがって必ず「有資格者（電気工事士）」が行い、アース（D種接地工事100Ω以下）工事を行う  
また、漏電遮断器を取り付ける  
（誤った工事を行うと故障や漏電の時に感電するおそれがあります。）



消費電力、電源を銘板で確認し、必ずこれに適した配線を行う  
（火災の原因になります。）

- 1) 電源が規定の電圧であることを確認する。
- 2) 接地付電源プラグになっているので必ず、対応したコンセント工事と電源容量を確保する。

	品番	電圧	消費電力	電源プラグ	対応コンセント 松下電工品番
REK12型	REK12A1C REK12A1D	単相100V	1.1kW	125V/15A 	WK3001W WF3002EK
REK12型	REK12A1CT100 REK12A1DT100	単相200V	1.5kW	250V/20A 	WK2520B/W WF2520B/W
REK25型	REK25C2C REK25C2D	単相200V	2.0kW		
REK35型	REK35D2C REK35D2D	単相200V	3.1kW		

※品番は、電気温水器本体側面の銘板で確認してください。

# 15 試 運 転



タンクが空のときは、絶対に電源プラグをコンセントに差し込まない  
(空焚きとなり故障・やけどの原因になります。)

## 1) 電気温水器への給水

- ① 止水栓を開けてください。
- ② 熱湯用単水栓の給湯ハンドルを全開にしてください。
- ③ 水が出ることを確認し、熱湯用単水栓を閉めてください。
- ④ 連結管接続部からの水漏れがないことを確認してください。
- ⑤ 点検口カバーを化粧ネジ(×2)を外して開け、逃し弁の手動レバーを引き上げ排水ホッパーへ通水し、各接続部からの水漏れがないことを確認してください。



アングル形止水栓



化粧ネジ

逃し弁点検ふた

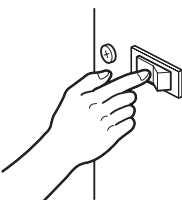
手動レバー

逃し弁

## 2) 電気温水器への通電

### 空焚き禁止

- ① 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- ② 『電源』スイッチを押し、ランプが点灯することを確認してください。
- ③ 『電源』スイッチを再度押し、『電源』ランプが消灯したことを確認し、電源プラグを抜いてください。



※運転ランプ点灯後、長時間放置するとタンク内の水温が上昇します。

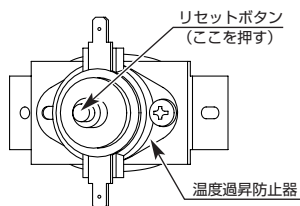
減圧弁、止水栓のフィルターにゴミが詰まると故障の原因になります。  
試運転後、フィルターの掃除を行ってください。  
(掃除の方法は、取扱説明書を参照してください)

※減圧弁・逃し弁は消耗部品です。劣化により機能の低下や水漏れする可能性があります。  
必ず定期的に交換するよう、お客様に説明してください。(交換のめやす：5年)

## 空焚きリセット方法

※万一空焚きした場合は、以下の手順で電気温水器内の  
温度過昇防止器のリセットボタンを押せば復帰します。

- ① 電源スイッチを「切」にする。
- ② 電源プラグを引き抜く。
- ③ タンク内に水を入れて、タンクの温度を下げる。
- ④ 前面パネルを取り外し、右図のリセットボタンを押す。



リセットボタン  
(ここを押す)

温度過昇防止器

# 16 機器内の水抜き

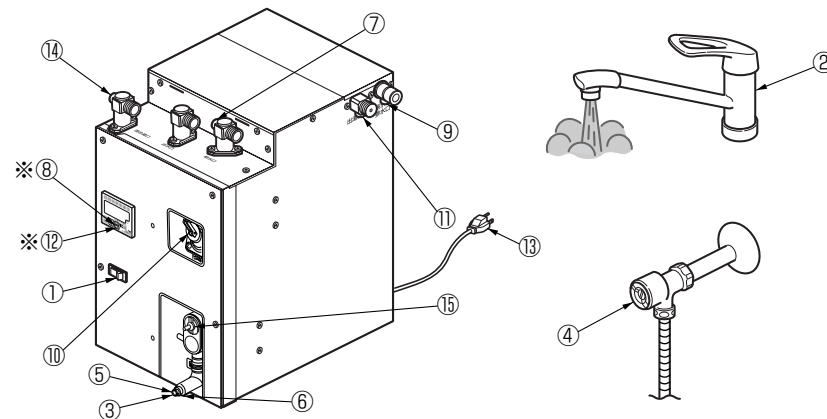


施工後、長時間使用されない場合は、電源プラグを抜いて、水抜きする  
(水質が変化した場合、下痢・腹痛など体をこわすおそれがあります。)

引き渡しまでに長時間で使用されない場合や凍結のおそれがある場合には、次の要領で機器本体および排水ホッパー内の水抜きを行ってください。その際タンク内の水温が高いときは水栓より排出し水温が下がっていることを確認してください。

## <水抜き手順>

- ① 電源スイッチを切にしてください。
  - ② 混合栓の水側および湯側を開け、タンク内の湯を完全に出し切る。
- 【注】タンク内に湯が残っているとやけどをするおそれがあります。
- ③ 同梱の排水ホースを排水栓に取り付けてください。
  - ④ 止水栓を閉めてください。
  - ⑤ 排水栓を開けると水が流れ出しますので、必ず受け皿などで受ける準備をしてください。
  - ⑥ 排水栓を開けてください。
  - ⑦ 給水口の水抜き栓を抜いてください。
- ※⑧湯入れ替え「手動」キーを押してください。
- ⑧ 膨張水排水口の水抜き栓を抜いてください。
  - ⑨ 逃し弁の手動レバーを引き上げてください。
  - ⑩ 出湯口の水抜き栓を抜いてください。
- ※⑫水抜き完了後、「手動」キーを押してください。
- ⑪ 電源スイッチを「切」にして、電源プラグを抜いてください。
  - ⑫ 混合湯口の水抜き栓を抜いてください。
  - ⑬ 最後に減圧弁の水抜きボタンを押し、減圧弁内の水を抜いてください。
- ※⑧⑫は自動給排水機能付きのみ該当します。



## 寒冷地での設置

- 電源スイッチが「入」の状態でも配管が凍結する場合は、必ず給水・出水・出湯側・混合湯口の各連結管と排水管に保温材または、ヒーターを巻いてください。